

令和6年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：市民総合体育館及び市内各体育施設

指定管理者名：河内長野SSKクリーン工房共同事業体

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	S	S
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
	労働諸法を遵守しているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	38,000,000	35,035,398	2,964,602	35,530,750	
	自主事業収入	7,400,000	8,189,248	-789,248	6,977,796	
	物品販売収入	500,000	345,142	154,858	349,732	
	指定管理料	72,000,000	72,000,000	0	72,000,000	
	その他収入	3,200,000	6,942,913	-3,742,913	5,405,083	
	収入総額	121,100,000	122,512,701	-1,412,701	120,263,361	
支出	人件費	38,500,000	41,298,905	-2,798,905	37,833,787	
	事務費	2,200,000	2,462,188	-262,188	2,076,768	
	管理費	45,000,000	43,446,693	1,553,307	43,900,305	
	自主事業経費	6,350,000	6,622,111	-272,111	5,804,682	
	光熱水費	18,000,000	14,136,448	3,863,552	18,171,302	
	リース料	600,000	531,564	68,436	531,564	
	その他	9,225,000	12,424,245	-3,199,245	11,829,120	
	支出総額	119,875,000	120,922,154	-1,047,154	120,147,528	
収支差額		1,225,000	1,590,547	-365,547	115,833	

3. 総合評価

自己評価

・令和6年度においては、赤峰市民広場が6月末で閉場となり、新たに木戸東運動場が開場するなど対応に追われる1年でした。木戸東運動場については、グラウンド周辺の樹木の剪定、グラウンド整備には特に力を入れ、今では、利用者の皆様からグラウンドが使い易く良くなったねとお褒めの言葉を頂戴しております。南花台小跡地運動場も同様に外野エリアの除草、固いグラウンドの整備により、素晴らしいグラウンドに生まれ変わりました。1月から3月までの約3ヶ月間にわたり、体育館アリーナの吊り天井工事の為、休場を余儀なくされました。自主事業(イベント)においては、①現役のプロ野球選手である広島東洋カープの秋山翔吾選手を招聘して、少年野球教室を開催しました。現役のプロ野球選手から指導を受けれるということもあって、子供たちに夢や希望を与えることができました。②バレーボールイベントにおいては、大阪大谷大学との産学連携イベントも初の試みとして開催しました。市内、市外の中学校のバレーボール部を対象に大学の監督・コーチによる実践を踏まえた指導を開催。大学のバレーボール部の学生さんにも応援いただき交流も深めました。イベントの間には、中学校の指導者に対して、指導者講習会を実施するなど指導者の育成にも努めました。③オリンピック(原沢久喜氏)を招いて、初心者・経験者を対象に柔道クリニックを開催。指導者からは、参加した初心者の子どもたち数名が入部してくれたとお礼の言葉を頂いた。

収支面においては、収入については、アリーナ休館期間もあり、利用料金収入は計画に対して減収、支出については、昨今の物価高騰や人件費の増額など収益を大きく圧迫し、大変厳しい1年となりました。

利用者サービスの一環としては、母の日、父の日企画、そしてクリスマス企画など開催し、体育館が地域のコミュニティーの場になるよう引き続きおこなってまいります。屋外施設の維持管理面では、営繕スタッフが、年間100件以上の補修・修理、グラウンド整備・整頓、木々の伐採・剪定・処理等を行いました。特に、市からご連絡いただいた案件や、利用者の方々からいただいたクレーム・要望等は速やかに対応して、ご利用者には喜んでいただきました。ただ、全体的に施設が老朽化しており、修繕だけでは対応しきれないケースもでてきており、今後大きな懸念材料です。今後も引き続き、市民の皆様の安全・安心を最優先し、市民の皆様から喜んで頂ける施設を目指してまいります。

市評価

令和6年度は、河内長野SSKクリーン工房共同事業体による指定管理業務が2期目3年目(計8年目)の年でした。

令和6年度においては、赤峰市民広場の廃止に伴う、代替地での施設運営対応を円滑かつ柔軟に実施していただきました。木戸東運動場において、指定管理者としてのノウハウを活かした、施設運営及びきめ細かな維持管理業務にご尽力いただきましたことは、担当課として高く評価しております。

また、自主事業にも継続して力を入れていただいていると認識しております。プロスポーツ選手と子供たちのふれあいの場となるような、行政では簡単に企画できない事業を数多く開催していただき、子供たちの豊かなスポーツ経験につながる素晴らしい機会を創出してくれたと認識しております。

あわせて、市民総合体育館特定天井撤去工事に伴い、長期の休館を余儀なくされた際も、柔軟に利用者対応をしていただいたことにつきまして、感謝しております。

日常の修繕や管理においても、老朽化した施設の維持管理が難しい状況の中、営繕担当スタッフを中心に、利用者目線で、迅速かつ丁寧に対応していたと認識しています。

特に、赤峰市民広場の代替地対応に伴う各種修繕業務は、真摯に対応していただき、担当課として深く感謝しております。

以上のきめ細かな対応により、年度協定書における成果目標である、本施設の年間合計利用者数400,000人以上、教室及び催事実施数年12回以上、対象施設の合計稼働率平均40%以上についても、無事に達成しており、高く評価しております。

今後も、施設の管理運営においては、市と随時、情報共有を図りながら、民間企業の特色を活かしたスポーツ施設の効率的な管理運営を行ってもらうことを期待します。